

参加無料



大腸がんを基礎から学べる  
パンフレットをプレゼント

# 京都で大腸がんを学ぼう

2026

5/17日 14:00  
|  
16:00

**会場** ヒューリックホール京都

〒604-8023 京都府京都市中京区備前島町310-2  
立誠ガーデン ヒューリック京都 1F

**定員** 現地参加先着200名 (参加無料)

アーカイブ配信あり

**主催** 京都大学医学部附属病院消化管外科

**後援** 京都市

**総合司会**

中井 美穂さん

フリーアナウンサー/  
がんネットワークジャパン理事



## プログラム

### 開会の挨拶

京都大学消化管外科 小瀨 和貴



講演  
1

### 大腸がん検診はなぜ必要?

京都大学消化管外科 後藤 健太郎医師



講演  
2

### 大腸カメラってどんな検査?

京都大学消化器内科 内海 貴裕医師



講演  
3

### ロボット手術で 体にやさしい治療を受けよう

京都大学消化管外科・医療器材部 板谷 喜朗医師



講演  
4

### 病院のかかり方 がんになったらどこで治療を受ける?

京都大学消化管外科 山本 健人医師



### 閉会の挨拶

京都大学消化管外科 肥田 侯矢



お問い合わせ  
申し込み

京都大学医学部附属病院消化管外科/京都がん・消化器疾患ネットワーク(KUCCIE)  
Kyoto University Cancer & Gastrointestinal Information and Engagement (KUCCIE) Network  
KUCCIE運営事務局(日本コンベンションサービス内) E-mail kuccie@convention.co.jp  
※ご参加には予約フォームからの事前登録が必要です。

申込みは  
こちら



# 私たちの想い

二人に一人ががんにかかる現代、

がんに関する正しい情報を市民に提供することは、私たち専門家に求められる重要な責務です。

特に近年は、インターネットの検索エンジンのみならず、

YouTubeやTikTok等の動画プラットフォーム、X(旧Twitter)や

Instagram、Facebook等のSNS、さらにはChatGPT等の生成AIなどを通して

がん関連情報を収集する方々も多く、年々その情報源は多様化しています。

一方で、それらのデジタル環境には危険な誤情報が非常に多く、

中には、インターネットやSNSで見た情報を信じて健康を害したり、

がんの標準治療を受ける機会を失ったりする方も少なくありません。

このような状況において、医師は医療機関で患者さんに治療を提供するだけでなく、

医療機関の外に向けて積極的に情報発信し、

市民の皆さまを適切な医療に導くことが求められると私たちは考えています。

京都がん・消化器疾患ネットワーク(KUCCIE)は、京都大学消化管外科の医師が中心となって、

がんの市民啓発と後進の教育を目指す取り組みです。

京都を拠点として、一般市民公開講座の開催や、

デジタルプラットフォームにおける情報発信・コンテンツ作成を行うことで、

がんに関する啓発・教育を行ってまいります。

京都大学消化管外科の標語は、

『すべては患者さんの笑顔のために』です。

いま病気で悩んでいる方も、そうでない方も、

皆さまが「笑顔」でいられる未来を、私たちは目指しています。



**KUCCIE**  
京都がん・消化器疾患ネットワーク

京都大学医学部附属病院消化管外科  
京都がん・消化器疾患ネットワーク

Kyoto University Cancer & Gastrointestinal Information  
and Engagement (KUCCIE) Network

本講座は日本癌治療学会・ファイザーのがん情報の均てん化プロジェクトの助成を受けて行っています。